

FM送信機

SA-300-(XXX*)-SE



写真は30W機

概要

- 本機は、10Wから300W出力までシリーズ化されたFM送信機です。

特徴

- 変調部、送信部、電源部の全てを一体化。
- 通常のL/R音声入力の他、コンポジット信号入力も可能です。
- 弊社のリモコンと接続することにより、演奏所側で送信出力レベル、エキサイター異常、放熱フィン温度異常等の監視を行うことができます。
- 前面パネルで、出力電力、進行波出力異常検知レベル、反射波異常検知レベルの調整ができます。
- 詳細およびその他仕様変更はお問い合わせください。

* 送信機／中継送信機モデル名称は末番で区別する。(SE:送信機、FC:中継送信機)

* モデル名称SA-300-(X³ X² X¹)-SEのカッコ内3桁は定格出力を表す。(X³:100W, X²:10W, X¹:1W)
(例:001=1W, 010=10W, 100=100W)

定格

送信周波数	76MHz～95MHz (指定1波 100kHzステップ)	
送信出力インピーダンス	50Ω不平衡 / N型	
標準送信出力	10W～300W	
送信周波数偏移	±75kHz以内	
音声入力	ステレオ変調器	0dBm～+4dBm @100%変調 (L/R) 600Ω バランス、キャノンコネクタ(メス座)
	コンポジット信号入力	1V(P-P) @100%変調 75Ω BNC
プリエンファシス	50μs	
電源電圧	AC 100V±10% 50/60Hz	
消費電力	約100VA～1,000VA	
使用環境	温度	-10℃～45℃(性能保証範囲)
	湿度	90%以下(結露なきこと)
冷却方式	自然空冷／強制空冷(50W以上)	
外形寸法	482(W)×(88～177)(H)×430(D)mm(突起物含まず)	
質量	約9kg～25kg	

性能

送信周波数偏差	±2.5×10 ⁻⁶ 以内 (10年間:±2.5×10 ⁻⁶ 以内)
プリ・エンファシス	50Hz～15kHz: +0dB, -0.5dB以内 @1kHz基準 50μs
歪率(THD+N)	1.0%以内 (50Hz～15kHz)
S/N	65dB以上 @1kHz基準
残留振幅変調雑音	無変調時: -60dB以下 100%変調時: -50dB以下
分離度	35dB以上(50Hz～15kHz)
スプリアス	-70dBc以下(スプリアス領域) -60dBc以下(帯域外領域)
占有周波数帯域幅	200kHz以内